

研究に関する情報公開文書（オプトアウト）

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた情報を用いて行う後方視的観察研究であり、新たに患者さんへ負担を伴う検査や介入は行いません。研究対象となる方から直接同意を取得することが困難なため、研究内容に関する情報を公開し、拒否の機会を保障する「オプトアウト」により実施しております。

1. 研究課題名

大腿骨近位部骨折患者の疼痛・能力障害予後分析

2. 研究の目的

大腿骨近位部骨折は高齢者に多く発生し、術後の疼痛や能力障害が長期予後に影響を及ぼすことが知られています。本研究では、入院期における疼痛および能力障害の経時的変化とそれらの相互関係を明らかにし、予後に関連する因子を検討することを目的としています。

3. 研究の対象

対象期間：令和6年1月1日～令和9年3月31日

当院および法人内関連施設に入院し、リハビリテーションを受けられた大腿骨近位部骨折患者さん

4. 研究の方法

診療録および診療連携に必要な範囲内で共有されている患者情報から得られた項目を用いた後方視的観察研究を行います。

【収集情報】

- ・年齢、性別、BMI
- ・術側、術式、手術時間、出血量、服薬
- ・筋力、筋量、関節可動域
- ・疼痛
- ・歩行能力

5. 研究期間

倫理委員会承認日～令和9年3月31日

6. 利用する情報の管理

取得した情報は匿名化し、個人が特定できない形で管理します。対応表は研究責任者が厳重に管理し、外部に漏れることはありません。研究成果は学会や論文で公表されますが、個人が特定されることはありません。

7. 研究対象者の利益および不利益

本研究は診療情報のみを用いるため、新たな負担や危険はありません。また、リハビリの実施方法やメニューは医師の指示に基づいて行うため、本研究を実施することによって影響を受けることはありません。

8. 研究への参加拒否について

本研究への情報利用を希望されない場合は、下記までご連絡ください。参加を拒否されることによって生じる診療上の不利益は一切ありません。なお、既に解析済みのデータは削除できない場合があります。

9. 研究機関および研究責任者

川西市立総合医療センター 理学療法科
研究責任者：古賀 優之

10. 問い合わせ先

川西市立総合医療センター 理学療法科
担当者：古賀 優之
TEL：0570-018-199
E-mail：m.koga@kyowakai.com